

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)

谷山第二地区

平成26年1月

鹿児島県鹿児島市

○評価結果のまとめ

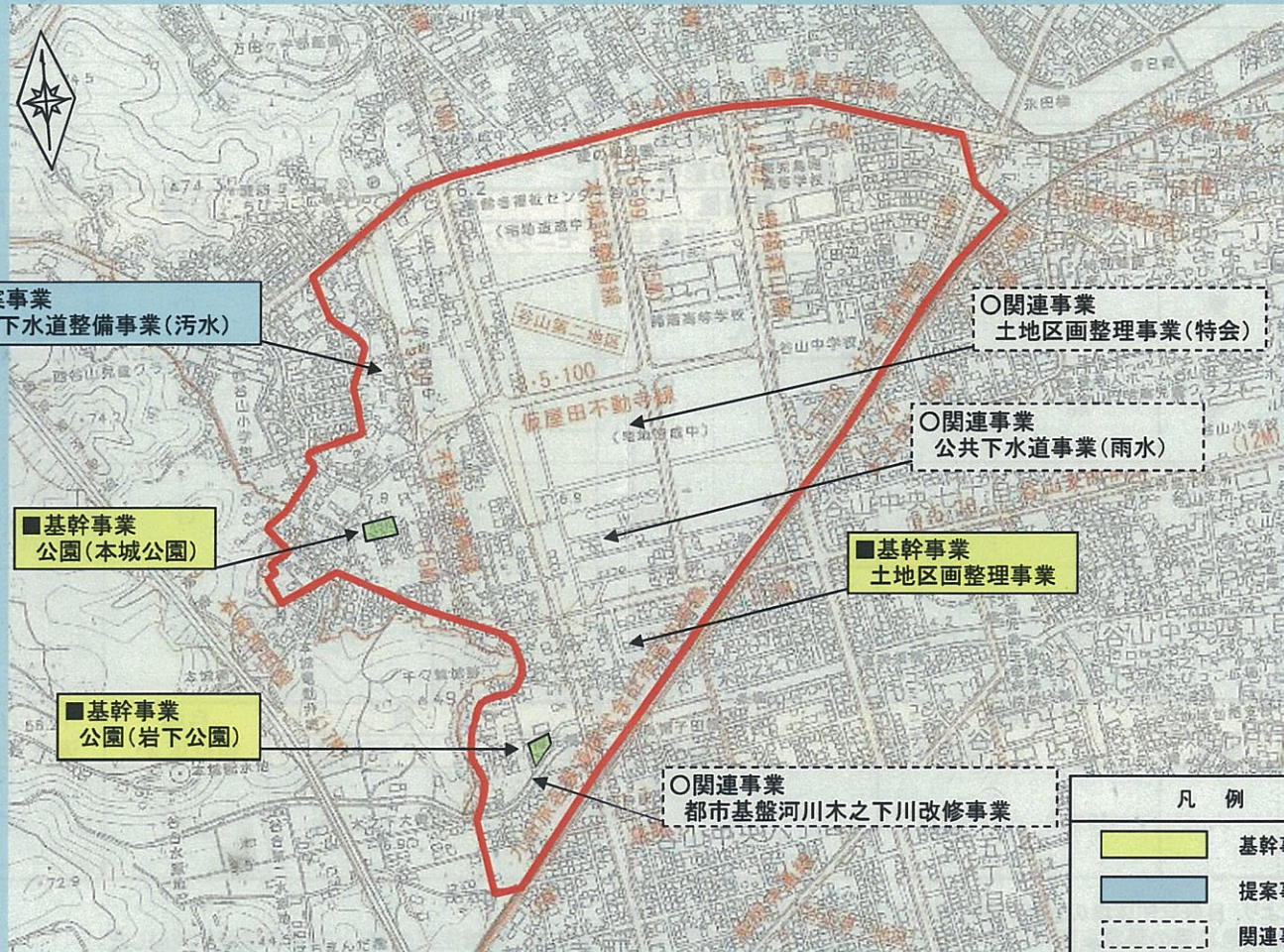
都道府県名	鹿児島県		鹿児島市	地区名		谷山第二地区		面積	72.9ha				
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	2,618.8百万円		国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業		公園(岩下公園、本城公園)、土地区画整理事業(谷山第二地区)										
	提案事業		公共下水道整備事業(汚水)										
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業		基幹事業			なし			-				
	新たに追加した事業		提案事業			なし			-				
交付期間の変更		当初		平成21年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし					
変更		平成21年度～平成25年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	建築着工件数	棟	501	H20	700	H25		861	○	あり なし	土地区画整理事業の推進により、住民が安心・安全に暮らせる良好な生活環境が整備されたことにより、宅地利用の増進が図られた。	平成26年5月
	指標2	住民の満足度	%	46	H20	80	H25		81	○	あり なし	土地区画整理事業区域内における幹線道路や生活道路等の整備による交通環境の改善、良好な生活環境の形成が進んだことで、地域住民の住環境に対する満足度が高まった。	-
	指標3	下水道普及率	%	37	H20	80	H25		83	○	あり なし	公共下水道(汚水)の整備により、土地区画整理事業区域内における下水道処理人口が増加し、市民の快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全が図られた。	平成26年6月
指標4	避難場所までの平均距離	m	200	H20	140	H25		180	△	あり なし	● 計画した2公園のうち、1公園の整備が完了せず、目標値を達成していないが1年以内に整備完了予定であり、完成すると目標値を達成し、地域住民のコミュニティの場となる公共空間と災害時の避難場所が確保される見込みである。	平成26年10月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	都市再生整備計画区域内及び周辺地域の居住人口	人	19,482	H21				20,515			土地区画整理事業の推進により、住民が安心・安全に暮らせる良好な生活環境が整備され、定住意識の向上が図られたことで、区域内及び周辺地域の居住人口が増加した。	平成26年5月	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地の利用増進とともに、公共施設の整備により、良好な住環境の形成と都市景観の向上が図られた。 ・幹線道路や生活道路等の整備により消防車や救急車等の緊急車両の円滑な通行が可能となり、到着時間の短縮も図られ、地域住民の安心・安全の確保に貢献した。 ・県農業試験場跡地に県立盲学校が移転するなど、文教施設の集積が図られた。 												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	公園設計に係る住民アンケート調査		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民の意見を反映したまちづくりに努める。					
持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

○地区の概要

谷山第二地区(鹿児島県鹿児島市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年	値	年	値	年
大目標：人々が安心して暮らせる快適なまちづくり 目標1：文教・福祉の拠点としての良好な住環境の創出 目標2：地域住民の安心・安全の確保	建築着工件数	棟	501	H20	700	H25	861	H25
	住民の満足度	%	46	H20	80	H25	81	H25
	下水道普及率	%	37	H20	80	H25	83	H25
	避難場所までの平均距離	m	200	H20	140	H25	180	H25

谷山第二地区土地区画整理事業 72.9ha



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業区域内における幹線道路、区画道路、公園(整備予定)、公共下水道などの公共施設の整備により、安全性と防災性に優れた居住環境良好な市街地の形成が図られた。 土地区画整理事業と併せて、公共下水道(雨水)整備や河川改修を実施したことにより、水害に対する防災性が向上した。 土地区画整理事業区域内の幹線道路の整備により、県道鹿児島加世田線からの流入が増えるなど、地域の交通量の更なる増加が考えられることから、歩行者や車両通行の安全性の確保が必要となってきている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業により改善された良好な住環境を維持するため、市民と協働した公共施設の維持管理などに努める。 本地区の西側において未整備箇所が一部残されていることから、土地区画整理事業等により公共施設の整備改善を行い、都市基盤の充実を図る。 土地区画整理事業区域内の幹線道路の整備により、県道鹿児島加世田線からの流入が増えるなど、地域の交通量の更なる増加が考えられることから、歩行者や車両が安全かつ快適に移動できるよう交通安全施設の整備を図る。